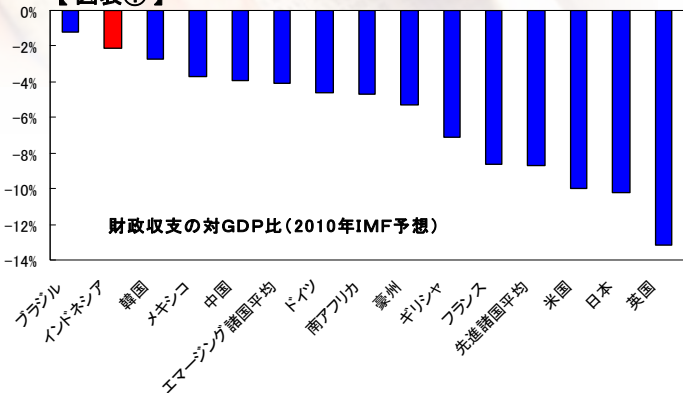


## インドネシア～健全な経済基盤への変貌～

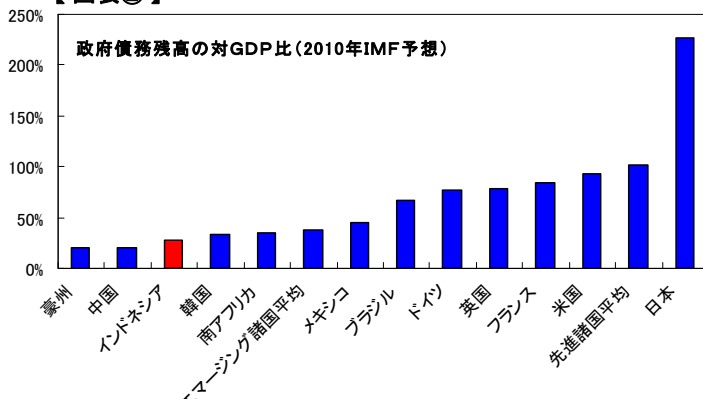
- ✓ インドネシアの財政基盤および債務環境は健全であり、労働人口を支える人口動態も良好。
- ✓ インドネシア株式やインドネシアルピアは、健全なファンダメンタルズを反映し堅調推移を続けている。

●IMFの2010年の予想によると、インドネシアの財政状況(図表①)や政府債務の状態(図表②)は先進国はもとより、エマージング諸国の平均と比較しても健全な状態にあります。

【図表①】

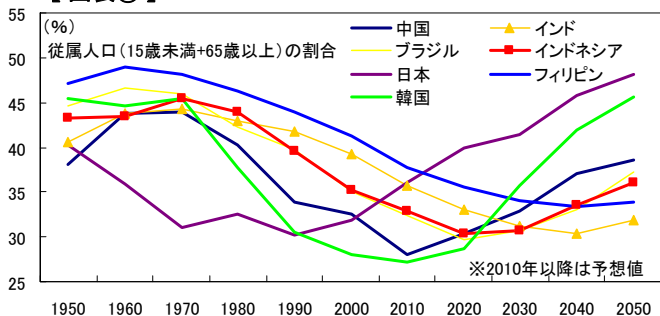


【図表②】



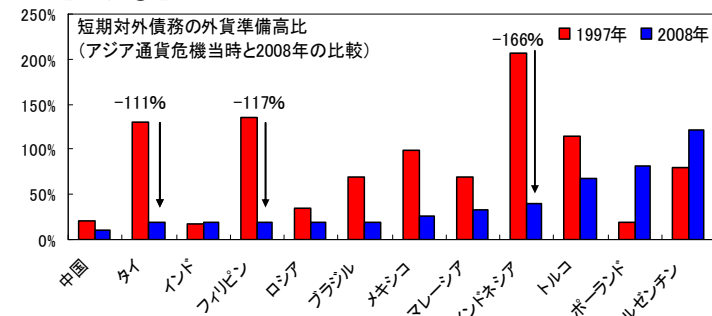
●従属人口(15歳未満+65歳以上の人口)の割合がインドネシアは2020年程度まで低下し続ける模様です。このことは、労働人口の安定を通して、経済成長を支える一要因になります。

【図表③】



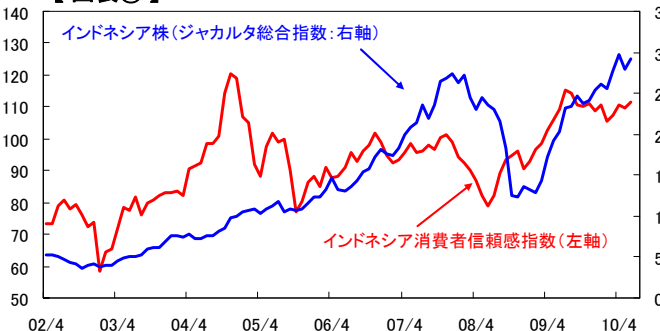
●インドネシアの短期対外債務の外貨準備高に対する割合は、1997年のアジア通貨危機時と比較すると格段に改善しています。

【図表④】

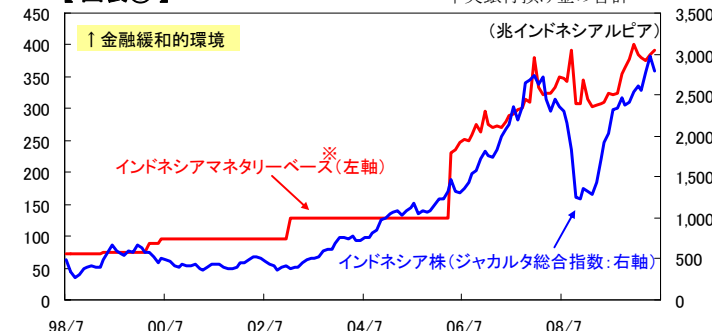


●堅調なインドネシアの消費者信頼感に歩調を合わせ、インドネシア株は上昇しています(図表⑤)。また、金融政策も依然として緩和的であり、株価を支える要因となっています。(図表⑥)。

【図表⑤】

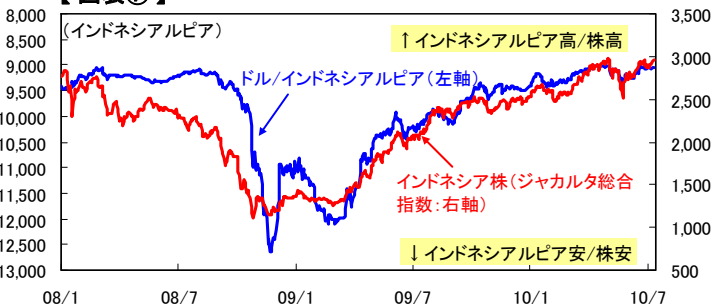


【図表⑥】



●株価の上昇にインドネシアルピアも連動し上昇しています(図表⑦)。

【図表⑦】



出所: 図表①②はIMF、図表③は内閣府、その他はブルームバーグのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成